あさひコミュニティだより

編集責任者
あさひコミュニティ推進協議会
発行責任者
荒川　光
編集責任者
勝見眞久

第35回定期総会開催される

第35回あさひコミュニティ推進協議会総会が5月15日、小久保小山副市長、小曽根課長、中瀬城南交番所長他の来賓をお迎えしてコミュニティセンターで開催された。議長に新井理事を選出、平成21年度事業報告、部会活動報告・会計決算報告を承認し、引き続いて今年度の事業計画予算案が採択された。

コミュニティ活動の基本方針である地区内各自治会との密接な連携の下、理解と協力により参加意識の高揚を図ることなどを申し合わせた。

本年度は役員改選時期にあたり以下の役員が選任された。（＊は新任の役員）

会長　荒川　光（旭町東）
＊副会長　五月女英雄（旭町西）
副会長　阿久津　勇（大聖寺）
＊副会長　小澤　正治（南城南）
＊監事　阿美　良和（駅南町）
＊監事　重田　範一（旭町南）

＊理事　大塚　克己（駅東二）
理事　杉山　浩章（駅東）
＊理事　阿美　良和（駅南町）
理事　新村　昭三（天神町）
理事　荒川　光（旭町東）
理事　五月女英雄（旭町西）
理事　重田　範一（旭町南）
＊理事　寺本　孝雄（緑町）
理事　新井　滋二（稲荷町）
理事　阿久津　勇（大聖寺）
理事　小澤　正治（南城南）
＊理事　山下　俊二（城南FP）
理事　島崎　隆（通宿東）

総務部会
部長　山崎　好一（旭町南）
副部長　澤口　茂利（駅東）
＊副部長　阿部晃一郎（駅南町）

体育社会部会
＊部長　江原　輝雄（大聖寺）
＊副部長　中山　栄（駅南町）
＊副部長　蓑田　学（旭町南）

教養・文化部会
部長　宮沢　勇八（旭町西）
＊副部長　岩崎　貞子（旭町東）
＊副部長　末柄タミ子（旭町南）

生活・環境部会
＊部長　柴田　恵通（旭町西）
＊副部長　望月　安枝（旭町南）
＊副部長　下出　敏達（通宿東）

交通安全対策部会
部長　清田　恒雄（旭町東）
副部長　望月　友二（旭町西）
副部長　大塚　稔（旭町南）

広報部会
部長　勝見　眞久（旭町西）
副部長　山口　寛昌（旭町南）
＊副部長　野口　哲夫（緑町）

本部事務局
局長　庶務　深野木一枝（旭町南）
庶務　宮田　初江（大聖寺）
会計　寺嶋　浩志（旭町南）
会計　大島　秀子（旭町南）

参考

小山市あさひコミュニティ推進協議会は次の13自治会で構成されています。

（2010年6月 現在）

自治会名	会長	世帯数
駅東二丁目	大塚　克己	620
駅東	杉山　浩章	1,100
駅南町	阿美　良和	660
天神町	新村　昭三	78
旭町東	荒川　光	801
旭町西	五月女英雄	624
旭町南	重田　範一	1,395
緑町	寺本　孝雄	309
稲荷町	新井　滋二	242
大聖寺	阿久津　勇	474
南城南	小澤　正治	53
城南ＦＰ	山下　俊二	96
通宿東	島崎　隆	850
	合計	7,302

＊世帯数は平成22年度市への申請世帯数です。
（天神町自治会の対象世帯数は前年同様と見させて頂きました）

ごあいさつ

あさひコミュニティ推進協議会
会長　荒川　光

会員の皆様、日頃よりコミュニティ活動に参加ご協力いただき誠にありがとうございます。

当コミュニティも県の第1号指定を受けてから早35年が過ぎました。

この間に世の中では、便利さばかりを追求したり・核家族化が進行したり・自己権利を声高に主張するようになるなど、身のまわりの状況は急激に変化してきました。

この傾向は今後も継続するものと思います。

このような時代だからこそ、少し考えの方向を変えて、ご近所（向こう三軒両隣）・自治体・コミュニティと身近なふれあいの場である地域の活動に参加していただけると幸いです。

日本の村社会によくみられた、近所の人々がお互いに知り合いで普段からよく話を交わし、困った時気軽に声をかけることの出来る、コミュニティはそんな「安全・安心の町つくり」を目標にしております。

皆様、一緒に住みよい町をつくって行きましょう！

加入13自治会の絆を深める事は勿論の事、近隣自治会についても理解をいただける様、働きかけを行っています。

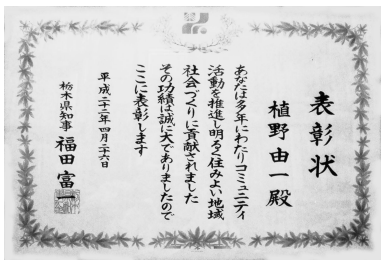
表彰

4月26日に県コミュニティ総会において永年にわたるコミュニティ活動での功績が評価されて、植野由一前副会長が県知事表彰を重田範一前会長が協会長表彰を受けられました。おめでとうございます。

県知事表彰を受けて

植野　由一

30余年前自治会の推薦で旭地区コミュニティ推進協議会に参加させていただき、今日まで数多くの方々にご指導ご協力を得て副会長を無事に卒業できました事は役員の皆様のお蔭と心からお礼申し上げます。県知事表彰を賜り身に余る光栄と深く感謝しております。受賞の喜びを胸に、これからの人生を楽しく過ごしたいと考えています。ありがとうございました。



表彰状

植野由一殿

あなたは多年にわたりコミュニティ活動を推進し明るく住みよい地域社会づくりに貢献されましたその功績は誠に大でありましたのでここに表彰します

平成二十二年四月二十六日

栃木県知事　福田富一

コミュニティ協会長表彰を受けて

重田　範一

平成7年の総務部会を皮切りに環境美化推進委員会、交通安全対策委員会を経て会長を6年間務めました。

快適な環境と心豊かな活力に満ちた街づくりを基本理念にふれあい活動を続けてきたことが評価され、うれしい限りです。これも皆様のご指導ご協力があってのことで、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

自治会の紹介

協議会を構成する13自治会の中から今回は次の2自治会を紹介します。

通宿東自治会

自治会長　島崎　隆

本自治会は平成13年5月、通宿自治会から分離して出来た自治会です。

もともとの通宿自治会はＪＲ線（宇都宮線）の東西に跨って構成されていました。

同線にあった2ヶ所の踏切が人や自転車・自動車の往来によって東西交流の重要な役割を果たしておりましたが、踏切の廃止によって交流が遮断されてしまい、それぞれ独立した市街を形成するようになりました。

そして踏切に変わり、ＪＲ線を挟んで、アンダーで結ぶ道路が出来ましたが、このアンダー部分の勾配が厳しく、しかも距離も長く、歩行者や自転車の人（特に老人の方）には極めて不人気であり、通行する人も少ないのが現状であります。

このような事情を背景に通宿自治会の分離・分割を多くの皆様方と話し合い、ＪＲ線を境に、西と東に自治会を設立したものであります。

本自治会は平成13年5月27日、480戸で設立発足し、9年後の今日戸数850戸と驚異的な発展をしております。戸数は実に1.8倍となり、小山地区自治会数42のうち6番目に位置しております。自治会では、この戸数増に対応するため平成15年4月に班の位置の合理化、すなわち「班の呼称変更（班の再編成を含む）」を実施し、今日に至っております。

しかしながら、分離、分割して10年足らずで歴史も浅く、まだまだ多くの課題も残されております。特に本自治会では、独自の自治会館もなく、現在は、市営住宅の集会所を借りて対応しています。

今は「自治会館建設を！」を合い言葉に、自治会館建設基金を積み立てています。

城南フォレストパーク

自治会長　山下　俊二

フォレストパークの語源『森林公園』のように、静かでゆったりとした空間の中に開放的な住宅が建ち並び、爽やかな風が通り抜けていくような街並みの城南ＦＰ自治会は、来年度に10周年を迎えます。

現在自治会世帯数は96世帯で、立地状況から今後大幅な世帯数の増減は無いものと思われます。

班数は6班で、1班あたり13～20世帯であり各種案内がスムーズに連絡できる世帯数となっています。

自治会の目的は「自治会地域の住環境を保全し、居住者相互の親睦と福祉の増進を図ること」とあります。

役員の選出については、各班から1名の班長を選出（輪番制）し、任期を1年務めます。任期後このメンバーの中から各役員（会長、副会長、会計、会計監査2名）を選出しますが、誰も進んで会長に立候補する人がなく、超原始的なアミダくじにより毎年各役員が選出されます。

また、コミュニティ担当（理事、総務部、体育社会部、交通安全対策、広報、生活環境）も役員と兼務で割り当てられます。

ここで問題となるのが自治会役員とコミュニティ担当の任期で、自治会役員の任期は1年、コミュニティ担当は2年のため、コミュニティ担当を兼務しない年度が発生してしまいます。

この不公平感について検討案件として提議され、今年度中に解決する事項の一つになっています。

自治会の行事についてはこれと言った行事を過去に行なったことは無く、来年度は自治会発足10周年にあたるため、記念行事の有無について全家庭にアンケートを行ないましたが、前回5周年と同じく今ひとつ盛り上がりに欠け、見送る事となりました。

私はフォレストパークに引っ越してきて2年ですが、女房のくじ運の良さ？で会長に選任され、右も左も分からない状況でしたが、新役員の方々と協力し自治会の目的に沿って任務を遂行できるよう努力奮闘中です。

それには、関係機関や地域の皆様のご協力が不可欠でありますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

次回は南城南と大聖寺自治会の紹介です